

小児がん経験 x 防災・減災 “災害からの生存科学”構築を目指して



門廻 充侍

Seto Shuji

新学部設置準備担当

講師 博士（学術）

研究キーワード

津波防災 小児がん 協創

研究概要

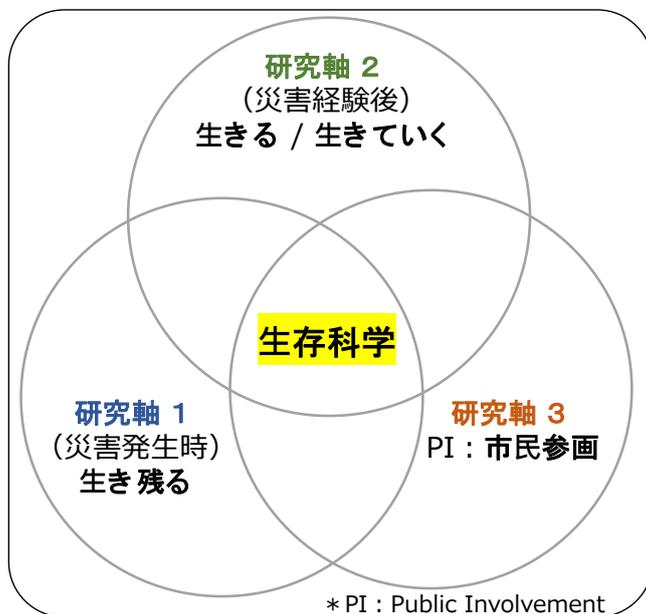
Purpose（存在意義）

災害の経験と共に歩み続ける時代に、
一人ひとりのWell-being（心身の健康 / より良い人生の歩み）に貢献する

私には、小児がん経験者と津波防災研究者という2つの視点があります。災害も病気も、生き残ることは大切です。でも、一人ひとりの人生は、生き残った後も続きます。私は今、自分が経験した病気の経験と向き合いながら、人生を歩んでいます。

このプロジェクトでは、上記のパーパスを掲げ、右に示す3つの研究軸を設定し、産官学連携を意識して進めています。

決して簡単ではない挑戦です。しかし、企業の皆様とも協力し、1つひとつ創造し、社会に届けることで、実現できると信じております。



予想される応用例

小児がん経験者 / 津波防災研究者としてのフィードバックなど

産業界へのアピールポイント

上記パーパスに共感してくれる企業様がいらっしゃれば、対話を重ね、協創へ繋げていければ幸いです。